

東海・東南海地震に備える

# 防災訓練に 430人が参加

# 防災への意識改革

70

安全で住みよい  
まちづくり

ニュース

防災交通課  
(内208)



避難所設営訓練で避難者名簿に記入する参加者

九月二日、午前七時から英比小学校屋内運動場で阿久比町防災訓練を行い、各地区の自主防災会や町赤十字奉仕団員など総勢約四百三十人が訓練に参加しました。

訓練は今後発生が予想されている東海地震・東南海地震が連動して発生し、阿久比町で震度6強を観測したとの想定。地区ごとに四班に分けて、避難した場合に行う避難所設営訓練や、けが人を手当てする救護訓練などを実施しました。

避難所設営訓練は、防災訓練で今年初めて実施しました。激甚災害が発生した場合は、極限状態の中で、被災者が避難所でない期間、共同生活を営むことが予想されます。訓練では自主防災会が中心となって、避難者名簿の記入と段ボール製間仕切板の設営を行いました。避難所で提供する支援物資などは、避難者数

を基礎としますので名簿作成は必要不可欠な作業です。間仕切板は、介護を必要とする高齢者・障害者などの災害時要援護者の専用スペース確保に使用します。

避難所は、生活再建を始めるための地域の防災拠点となります。避難者の自主運営、自力再建が原則です。共同生活をする上で、自主防災会を中心に「共通理解ルール」を決め、被災者同士が力を合わせる必要があります。

積極的に地域の自主防災会に参加するなどして、自分自身の安全は自分で守るよう心掛け、日ごろから防災意識を高めて、いざというときに備えてください。



間仕切板の設営



救護訓練を行う参加者